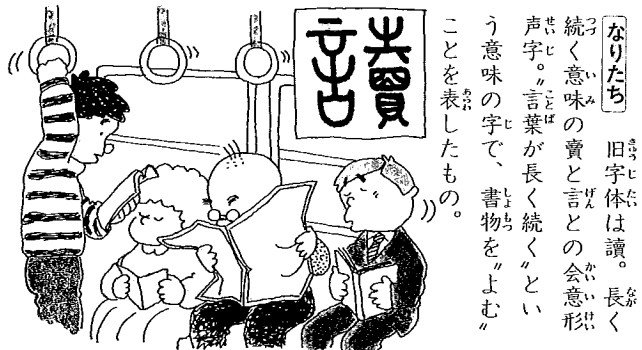


読

ドク・トク
よむ

〔2年〕
14画
言言言言言
読読読読



〔なりたち〕 旧字体は讀。長く続く意味の讀と言との会意形声字。言葉が長く続くという意味の字で、書物を「よむ」ことを表したものだ。

いみじゆく
▼よむ。読書：書物(本)を読むこと。読者：読む人。本・新聞・雑誌などを読む人。

読破：難しい本や厚い本を最後まで読み終えること。
朗読：声を朗々と出して読むこと。
用例：詩を朗読する。
黙読：声を出さずに、黙って読むこと。
反音読：熟読：書いてあることの内容をよく読むこと。
例：熟読玩味(めい)。(よく読んで味わうこと。)

乱読：手当たり次第に読むこと。
反音読：何人かで順番に一冊の本を読んで、それについて議論すること。
よみかた 読本・句読点 読本・句読点 特別なよみかた↓
さんこう 読経 特別なよみかた↓

読続

続

ゾク
つづく・つづける

〔4年〕
13画
夕糸糸糸糸
続続続



〔なりたち〕 旧字体は續。賣と糸との形声字。同音の属(付き従う)の意味を借りて、「糸と糸とがくつつく」ことを表した字。糸が切れずに「くつつく」こと。また「くつつける」こと。

いみじゆく
▼つづく。つづける。連続：連なって続くこと。例：連続安打

継続：前からなされていたことを引き継いで続けること。
用例：契約を継続する。
接続：①続くこと。続けること。用例：母屋に接続した建物。②つなぐこと。例：接続詞(言葉や文章をつなぐ言葉。「そして」など)。
持続：その状態を保ち続けること。用例：体力を持続すること。
断続：とぎれたりついたりすること。例：断続的
続続：つぎつぎに続くこと。
続発：つぎつぎと続いて起こること。用例：事件が続発すること。

よみかた 続出・続行・続き 柄・永続・動続・相続・存続・手続き・陸続き

音

オン・イン
おと・ね

〔1年〕
9画
一立立立立
音音音音



〔なりたち〕 音という字の口の中に一を加えた字で、言と一の指事字。口から出る言葉が、口が閉じられたために、言葉にならず、意味のない、「おと」になったことを表した字。「おと」「ね」ともいう。

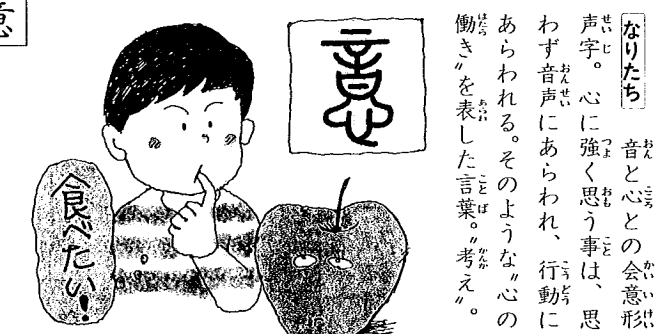
いみじゆく
▼口から出るおと。音声：人の発声器官から出て言葉となる音。こえ。
音読：声を出して読むこと。
物のおと。
騒音：うるさい音。
防音：騒音や音の反響を防ぐこと。

▼音楽のおと。音楽。音符：音の高さや長さを表す符号。
音質：楽器の音や声の性質。
▼たより。知らせ。
音信：たより。例：音信不通(たよりが無いこと)。
▼漢字の読み方の一つ。中国語の読み方から来たもの。音読：漢字を音で読むこと。
音読み。
よみかた 音色・福音・物音 特別なよみかた↓
さんこう 観音

意

イ

〔3年〕
13画
一ヤ音音音
意意意意



〔なりたち〕 音と心との会意形声字。心に強く思う事は、思わず音声にあらわれ、行動にあらわれる。そのような心の働きを表した言葉。考え。

いみじゆく
▼心の働き。考え。意見：①ある事柄についての考え。用例：意見を述べた。②叱(し)ること。説教。用例：父に意見された。

意外：考えの外であること。思ってもみなかったこと。
意志：どうしてもそうしようという強い気持ち。
意思：心に思っている考え。
決意：考えをはっきり決めること。
留意：考えをそこに留(とめて)忘れないようにすること。
合意：意見が合うこと。賛成すること。
翻意：考えを翻す(変える)こと。

▼言葉や文の内容。大意：大まかな意味。
さんこう 特別なよみかた↓
意気地

音意